

文学・詩歌ご担当者様 新刊 韓国の女性詩人の詩選集 5月29日発売



鎌倉の出版社

港の人

ご注文は JRC へ

FAX 03-3294-2177

し とも の
詩を灯し野にゆく

チェ・ヨンミ詩選集
チョン・ヘオク
丁海玉 編訳

ISBN978-4-89629-475-0 C0092 46判並製本/本文184頁/定価2420円税込

1994年、チェ・ヨンミが刊行した第一詩集『三十歳、宴は終わった』が50万部を超える大ベストセラー！時の詩人となり一躍、脚光をあびたチェ・ヨンミはその後どのような人生の歩み、詩をひらいていったのだろうか。

学生時代、ソウル大学校で知り合った丁海玉が長く見つめてきたチェ・ヨンミのこれまでの8冊の詩集から、「恋」、「闘う」、「孤独」、「詩」といった7つのテーマに分けて詩選集を編集・翻訳する。長年の友情から、チェ・ヨンミという詩人の魂のありかを解き明かしてくれる。

チェ・ヨンミ

詩人。1961年韓国ソウル市生まれ。ソウル大学校人文大学西洋史学科卒業後、弘益大学校大学院西洋美術史修士取得。1994年、第一詩集『三十歳、宴は終わった』を刊行。個人の性愛や社会風刺をストレートに表現した内容が大きく注目され50万部を超えるベストセラーになる。『夢のペダルを踏んで』、『豚どもへ』（梨樹文学賞）など、これまで8冊の詩集を上梓しているが、高い自意識と鋭い社会批評眼を持ち、人々に寄り添いながら社会問題や風俗をえぐるなど独自の文学の道を切り拓いている。2017年に発表した詩「怪物」により高名な詩人のセクシャルハラスメント疑惑を暴き、Me too 裁判で詩人から訴えられるが勝訴する。このMe too 活動により、2018年ソウル市性平等賞大賞を受賞。2019年、詩人の発言の場を確保するために出版社「イミ」を創業、旺盛な文学活動を展開している。



ブックデザイン：三橋光太郎

丁海玉（チョン・ヘオク）

翻訳家。1960年神奈川県川崎市生まれ。在日韓国人二世。1984年ソウル大学校人文大学国史学科卒業。1992年大阪高等裁判所通訳人候補者名簿登録。著書に、『法廷通訳人』、詩集『こくごのきまり』、編書に『祈り 金時鐘詩選集』、訳書に『きょうの肴なに食べよう？』（クォン・ヨン著）。詩誌『space』同人。

*すべての取次からご注文は可能です（JRC 経由）。返品条件付き注文扱い

番線印	ご注文数	詩を灯し野にゆく チェ・ヨンミ詩選集 丁海玉 編訳 ISBN978-4-89629-475-0 定価 2420 円税込
ご担当：	様	